

地域とともにある学校



いきいき芳井



芳井地区
学校運営協議会だより

No.4
令和6年2月

芳井地区学校運営協議会 開催 芳井中学校で2月9日 今年度最後

今回は、1年間の取組の成果や感想、今後の課題について協議しました。

【成果・感想】

芳井中学校の出身の高校生が、イベントで発表している姿を見ました。発表が大変上手で、中学校で学習したことが役立っていると感じました。今やっていることが、すぐ成長や結果につながらないこともあると思います。将来を見据えた、長い目でこの活動を続けたいです。



小学校での朝学習の支援や、中学校のテスト前学習支援におこしいただき、先生方から「ありがたい」という声が出ています。

この会が立ち上がり、地域と学校が連携・協力する動きが活発になってきました。新しい取組も開始することができたことは、成果だと感じています。

宵まつりで、小学6年生と中学3年生が出店しました。子どもたちは、生き生きと活動し、それを支える学校・保護者・地域の方々のつながりがより深まったよい取り組みでした。



中学校では、「いじめがない」という割合が昨年度と比較して増えています。様々な取組の成果であると思います。

地元にいながら子どもを知らなかったと思います。子どもと接することで、様子を知ることができました。また、先生方とも接することができ、学校や先生の思いを聞くことができました。





小学校では、自己肯定感・自己有用感をもてる児童の割合が、年々伸びてきています。子どもたちが地域に出かけて活動し、「役に立てた」という思いも要因のひとつであると感じています。

中学校の奉仕作業は、地域の方々の参加もいただき、平日に行うことができました。教職員の働き方改革にもつながりありがたかったです。

このような取組を通して、地域の方々に子どもたちの顔、子どもたちの成長が見えることは、地域の活性化につながるものだと思います。



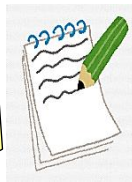
【課題】

学校運営協議会の目的や活動内容等が、地域や保護者の方にまだ十分周知されていないと感じます。今後、地区内への広報活動を、より広めていく必要があると思います。広報紙「いきいき芳井」を、さらに有効活用していきたいです。



中学校では、生徒数の減少等により、唯一の文化部である「吹奏楽部」が廃部の方向です。運動部の人数も減ってきており、部活動に支障をきたしています。
新たな部活動の在り方を考えていく必要があるため、地域と協働した運営を目指していきたいと思っています。

芳井地区学校運営協議会 のめざす子ども像・地域像



【めざす子ども像】

・ふるさと**芳井を愛し**、**目標をもって自ら考え**、**たくましく生き抜く子ども**

【めざす地域像】

・学校・園と**連携**して、ふるさと**芳井を愛し**、**芳井の未来を創るこども**を育てる地域

以上のことを達成するために、地域の皆様と協力・連携しながら、芳井地区総掛かりで取り組んでいくための仕組みが「芳井地区学校運営協議会」です。**子どもたちの健やかな成長・私たちのふるさと「芳井」をより「いきいき」とするために**、芳井地区の皆さんでがんばっていきましょう。来年度も、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。